

## 市の将来に向けて、長年の課題を解決へ 帝人用地と駅前東館跡地の活用の方向性

現在、市議会で審議中の、帝人用地と駅前東館跡地の活用の方向性について、今月から広報みはらで連載していきます。

★今回は、市が抱えている課題と、それらを解決するために考えている、両用地の活用の方向性を紹介します。

### 【帝人用地について】



▲購入を予定している帝人用地(円一町二丁目)

### ○課題

南小学校と第三中学校は、一つのグラウンドを共用しています。これは、南小学校を現在地へ建設した当時から半世紀を越える課題となっています。

また、市内の保育所は、適正規模・配置などの課題を抱えており、この解決のためには、統合保育所の整備が欠かせません。

さらに、芸術文化センターポポロの建設に伴い、現在暫

定的に使用している武道館は、狭いうえに老朽化が進み、早期の再建が必要です。

これらのことから、帝人用地の活用の方向性を次のように考えています。

### ○方向性

南小学校を移転して新築します。また、保育環境の充実を図るため、統合保育所を整備するとともに、武道館を再建します。

### 【駅前東館跡地について】



▲市民広場として開放している駅前東館跡地(城町一丁目)

### ○課題

駅前東館跡地は、駅前の乱開発を防ぐために、平成21年に市が取得しました。しかし、厳しい経済情勢から民間による開発の見通しが立たないままの状態となっています。

一方、現在の市庁舎は、築45年が経過し、耐震性や駐車

場不足、窓口の分散化などの問題を抱えています。

これらのことから、駅前東館跡地の活用の方向性を次のように考えています。

### ○方向性

市民の皆さんが利用できる施設や、民間施設などと複合的に、市庁舎を整備し、利便性向上と中心市街地の活性化を図ります。

\* \* \*

この方向性は、複数ある課題を一体的に解決するとともに、市民生活の利便性の向上や中心市街地の活性化、教育環境の整備といったまちづくりの観点に加え、平成26年度が期限の合併特例債を活用することによる将来の財政負担の軽減などを総合的に考え判断したものです。

なお、駅前東館跡地については、6月に開催される市議会で、具体的な活用案を示す予定としています。

今後とも、市議会をはじめ市民の皆さんの意見を伺いながら、課題解決に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。

問い合わせ先 政策企画課

(☎0848(6)6009)

## 東日本大震災への支援

皆さんからの温かい気持ちを届けました

義援金合計額(5月10日現在)1,937万4,722円

物資の内訳(受け付け件数1,017件)

タオル類	24,408枚
肌着・下着類	9,533枚
食品類	1,148食
飲料水	385本



社会福祉協議会では、義援金を日本赤十字社、共同募金会へ、また、市では、物資を被災地へ送りました。たくさんの協力をありがとうございました。

なお、現在も市役所本庁・各支所、社会福祉協議会本部・各地域センターの窓口や募金箱で、義援金を受け付けています。引き続き、皆さんの支援をお願いします。

### 市で行なっている支援

**対象** 今回の震災で家屋が全壊・半壊などの被害を受けた人、または福島原子力発電所の事故により避難している人

**内容**

- ▶ **住居**・・・市営住宅への入居のあっせんなど
- ▶ **生活**・・・生活必需品の購入などのための支援金を支給(市営住宅などへの入居者のみ)、水道料金や下水道使用料の免除、住民票や戸籍など各種証明書の手数料の免除など
- ▶ **健康・医療・介護**・・・育児・メンタルヘルス相談の実施、国民健康保険や後期高齢者医療の一部負担金の免除、介護サービス利用料の支払い猶予など
- ▶ **子育て**・・・市立保育所・幼稚園の保育・授業料の免除、入所(園)・一時預かりのあっせんなど
- ▶ **税金**・・・住民税の雑損控除額・住宅借入金等特別税額控除の適用期限の特例など

問い合わせ先 三原市支援対策本部事務局(危機管理室内)☎0848(6)6066 FAX0848(6)6164

